



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和5年度7月号
令和5年7月3日

「地域の一人」

校長 古澤 健史

【避難所の開設】

6月2日（金）梅雨前線が台風2号により活発となり、各地に線状降水帯が発生し、関東も大雨となり越谷市をはじめとして県内でも被害が出ました。市内の中学校では、京都への修学旅行の帰路にあたり、新幹線がストップし、車中泊を余儀なくされるという事態が起きました。また、新座市内にもエリアメールや防災無線が流れ、警戒レベル3高齢者等避難が出され、栗原小学校にも避難所が開設されることとなりました。18時過ぎに5名の避難所担当の市の職員が来校し、避難所が開設されました。

幸いにも市内には大きな被害もなく、本校の避難所にも避難された方は1人もおりませんでした。担当の職員の方々は、一晩中避難所を開設し、翌日の避難所閉鎖の指示を受け避難所を閉じて帰られました。

万が一に備え避難所開設をしてくださった担当の職員の方々や避難所の様子を確認しに来てくださった町会の方々など、多くの方が地域を守るために動いてくださりました。ありがとうございました。

【これまでの避難所開設で学んだこと】

私自身は今回の避難所開設で、避難所の経験は4回目でした。これまでの避難所開設で学んだことは、避難所に用意されている物資の数は十分でないこと、避難者もお客さんではなく一緒に避難所運営をしなければ避難所は成り立たないという2点です。

4年前の台風の時、当時私が勤務していた川口市の小学校は高台にあったため、地域からの避難者はごくわずかでした。避難者の8割以上が学区外に住む人々でした。400人近くの避難者に対して、避難所担当の市職員4名と教職員5名で、面識のない避難者への対応となりました。台風での避難ですから、通り過ぎればすぐに帰れるだろうと、何の準備

もない避難者が大半でした。毛布などの物品も人数分避難所にはなく、どのように配布するか困っていました。そんなときに助けてくださったのが、地域から避難していた方々と子どもたちでした。「先生、何か手伝えることはありませんか？」「僕たちも手伝います。」この声があがると、面識のなかった避難者からも一緒に物品やスペースの調整に声掛けをしてくれる人があらわれました。このおかげで、一晩の避難所でしたが無事に乗り切れました。

栗原小学校を会場に10月1日（日）に栗原町会合同の防災訓練が行われます。ぜひ、親子でご参加ください。

【6年生修学旅行】

6月20日（火）・21日（水）に、本校の6年生が日光に修学旅行に行きまして、天候にも恵まれました。バスの運転手やガイドさん、宿の方、見学先の方、すれ違う観光客にも気持ちの良い挨拶をしていました。

また、先を見越して行動し、楽しい時間がたくさん作れるように、自分たちで考えて行動していました。これからも6年生の成長が楽しみです。